

## ‘第3回 中等日本語教育授業教案コンテスト

### 教 案

**【注意事項】**

※項目は全て埋めてください。

※実際のクラスを想定しながら、学生に対する指示や説明、やり取りの言葉など詳しく書いてください。

※授業時間は、1コマ40～45分です。 ※教案は日本語で書いてください。

学校名：杭州英特外国語学校                      姓名：劉佳玮				
使用教科書：MARUGOTO 日本のことばと文化      第 7 課    (全 4 コマの内、本教案は 3 コマ目) (例) 第 5 課の授業を 7 回に分けて、この授業を 3 回目にする場合 ⇒第 5 課 全 7 コマの内、本教案は 3 コマ目 1 コマ 45 分 【要選択】( 高校 ・ 中学 )    2 年                      クラスの人数 10 人 【要選択】 第一外国語                      第二外国語                      課外活動                      その他 (                      ) 日本語学習歴 2 年				
この授業の到達目標 ① 言語能力：遅刻する時の理由を表す表現ができる。 ② 文化意識：日本人の時間に対する正確性が意識できる。 ③ 社会言語能力：場面に応じて謝罪表現を適切に使用し、人間関係を損なわずにスムーズなコミュニケーションがとれる。				
この授業の学習項目 ①新出単語：電車が止まります、渋滞です、時間を間違えます、道に迷います ②理由、原因を表す文型：動詞て型、名詞+で ③謝罪表現				
時間	段階 (授業の 流れ)	練習・活動の内容 (詳しく書いてください)	練習・活動の目的	注意点・ 使用するもの
3分	ウォーミングアップ	乗車シュミレータ 授業始まりの一分前から、JR 東日本の発車メロディーを流し始める。メロディーがなくなるまでに席に戻る学生は「MARUGOTO」電車に乗れ、まだ席に戻らない学生は電車に乗り遅れることになる。  音声：まもなく 4 番線から各駅停車大宮行きが発車します… (後略) T：メロディーが止まりましたね。まだ席に戻らない人、残念です。この後の電車をご利用ください。	「日本人の時間に対する正確性」の提起	教室の座席は電車のよう に配置しておく。
5分	導入(宿題発表)	「日本人の時間に対する正確性」宿題発表  T：「MARUGOTO」電車は何時に発車しましたか。		

※2 ページ以上になってもいいです、詳しく書いてください。ただし、項目は変更しないでください。

		<p>S: 10時5分です。</p> <p>T: ちょうど10時5分ですね。日本人は、時間を大切にしています。時間を守ります。じゃ、他に何か例とかありますか。みなさんが作ったビデオを一緒に見ましょう。</p> <p>時間どおりに運転する日本のいろんな交通機関や時間厳守を徹底する日本人の生活などを学生が事前調査してビデオを作った。</p>	<p>①日本人の時間に対する正確性を学生に意識させる。</p> <p>②学生の情報収集と要約能力の育成</p>	<p>使用する物 プロジェクター</p>
3分	導入(復習)	<p>「待ち合わせ」についてのアンケート調査。学生に○、×の看板を挙げるように指示する。</p> <p>T: はい、みなさん、よく調べましたね。日本人は時間を守って行動していますね。次にアンケート調査をしましょう。「はい、そうです」と答える人は○を挙げてください。「いいえ、違います」と答える人は×を挙げてください。</p> <p>① 夏休みは忙しいですか。 ② 夏休み、よく友達と出かけますか。 ③ 待ち合わせの時、よく遅れますか。 ④ 遅れそうな時、友達と連絡しますか。 ⑤ 遅れた時、謝りますか。</p> <p>T: 遅れた時、友達に謝る人は少ないみたいですね。でも、日本人の場合は、約束の時間に遅れたらまず謝ります。1分遅れでも謝ります。</p>	<p>①前回の単語復習：待ち合わせ、出かけます、連絡します等。</p> <p>② 「遅刻」の提起</p>	<p>使用する物 「○」、「×」が書いてあるカード</p>
5分	展開(新語)	<p>①謝罪表現の復習。 ②メッセージの画像で遅刻の理由を推測させる。</p> <p>T: じゃ、ここで問題です。日本人は遅れそうな時、友達にメッセージをします。じゃ、何を書きますか。 S1: 理由。 S2: すみません。 T: はい、「すみません」と謝るのは大事です。それから、理由。じゃ、メッセージを読んで、この四人はどうして遅れますか。考えてください。</p> <p>結果確認と新出単語の説明。</p>	<p>① 文脈から意味を推測する能力の育成 ② 新出単語の説明</p>	<p>使用する物 教科書 『MARUGOTO 日本のことばと文化』活動A2 P65</p>
10分	展開(聴解)	<p>一回目：録音を聞いて遅刻の理由の選び。 二回目：遅刻の理由を述べる際に使った文型と謝罪表現の確認。 三回目：聴解1をもう一度流し、一文ずつ音声をストックさせて学生に繰り返させる。</p>		

※2 ページ以上になってもいいです、詳しく書いてください。ただし、項目は変更しないでください。

		<p>アクセントやイントネーションの確認</p> <p>T: タイラーさんはこれから友達と待ち合わせをします。録音を聞いて、タイラーさんは遅れましたか。どうして遅れましたか。選んでください。 (一回目)</p> <p>T: じゃ、理由もわかりましたね。 それから、もう一度聞いて、空いている所に適切な表現を書いてください。(プリント配り) (二回目)</p> <p>S: 動詞はます型からて型になりました。 T: そうですね。謝るとき、動詞はて型で理由、原因を表すことができます。じゃ、名詞の場合は? S: 名詞プラス「で」。 T: はい、よく出来ました。それでは、一番目の録音をもう一度聞きますね。聞いてリピートしてください。 (三回目)</p>	<p>① 第二言語習得のプロセスを考慮し、一回目は内容、二回目は言語表現、三回目はイントネーションの確認。</p> <p>② 新出文型を学生が主体的にまとめる。</p>	<p>使用する物 ①教科書 『MARUGOTO 日本のことばと文化』活動A2 P66 ②プリント</p> <p>注意点 「から」は謝罪場面に使えないことを説明</p>
3分	定着練習	<p>T: ちょっと練習しましょう。李さんは遅刻しました。どうして遅れましたか。絵を見て遅刻の理由を言いましょう。 例えば、ちょっと道に迷って、遅れました。 イラスト1: 道に迷う イラスト2: 時間を間違える イラスト3: 電車が止まる イラスト4: バスを間違える イラスト5: 渋滞 イラスト6: 大雨 S1: 時間を間違えて、遅れました。 S2: 電車が止まって、遅れました。</p>	<p>新出文型の定着。</p>	<p>使用する物 イラスト</p> <p>注意点 学生が上手くできない場合は、動詞の「て」形を復習。</p>
14分	応用練習	<p>ロールプレイ</p> <p>T: みなさん、よくできましたね。 時間を守るのは大事ですが、たまに約束の時間に遅れることもありますよね。どうしますか、遅れた時。 S1: 理由を言います。 S2: 「すみません」を言います。 T: そうですね。理由も言いますが、「すみません」と謝るのも忘れないでください。 それじゃ、ロールプレイをしましょう。タスクを確認して会話を作りましょう。評価シートもありますので、評価項目を参考にして、会話を作ってください。</p>	<p>①与えられた文型で会話ができるかチェックする ②発音のチェック ③遅刻場面に応じて謝罪表現を適切に使用できるかチェックする</p>	<p>使用する物 ①ロールプレイカード ②評価シート</p> <p>注意点 ①学生の日本語運用力に差があるので、難易度の違いタス</p>

※2 ページ以上になってもいいです、詳しく書いてください。ただし、項目は変更しないでください。

		<p>難易度の高いタスク例</p> <p>A: 午後、コミケがあります。あなたは友達 の B さんと一緒に行きたいです。B さんに電 話します。4 時に駅の前で待ち合わせをし ます。 午後 4 時になりましたが、B さんは来ていま せん。 B: 今日は土曜日です。あなたは暇です。 あなたは方向音痴で、よく道に迷います。</p> <p>難易度の低いタスク例</p> <p>A: あなたは友達 B さんと 11 時に寿司を食 べます。デパートの入り口で待ち合わせをし ます。でも、あなたは入り口を間違えました。 10 分遅れました。 B: あなたは今日、11 時に友達と待ち合わせ をします。でも、A さんは 10 分遅れました。</p> <p>T: 時間です。1 グループから、どうぞ。 皆さん、1 グループの発表に点数をつけてく ださい。評価シートを使いますね。</p>		<p>クを用意し た。難易度の 高いタスク (誘いー返 事ー待ち合 わせ) 難易度の低 いタスク(待 ち合わせ) ② 学生にほ かのグルー プの発表に 点数を付け る。 ③ 時間のな いため、各グ ループのロ ールプレイ の点数を次 回の導入と して発表す る。</p>
2 分	まとめ と宿題	<p>T: みなさん、すばらしかったです。じゃ、 復習しましょう。(イラスト) 今日の宿題です。Can-do リストも忘れないで ください。(Can-do リスト配り)</p>	Can-do リストで、学 生が本日の内容を自 主的に振り返り、確 認する。	使用する物 プロジェクト Can-do リス ト
<p>工夫点・アピールポイント (どの部分に力を入れて作成したか、どの部分に注目してほしいか など)</p> <p>① 社会言語能力の育成に重要視しています。時間を守ること、遅刻場面に応じて謝罪表現を適切 に使用することは良好な人間関係を築くのに大切なことだと学生に伝えました。</p> <p>② 学生の日本語運用能力に合わせ、難易度の違いロールプレイのタスクを用意しました。</p> <p>③ 録音を三回流しました。内容の確認→言語表現の確認→イントネーションの確認というプロセス で進めました。</p> <p>④ 評価シートを使用しました。学生に評価項目を参考にして会話を作るよう指示しました。また、 評価シートで他のグループの発表に点数を付けることを通してクラス全員の参加意識を高め ました。</p>				
<p>★研修会でどんなことを学び、どのように授業に活かしたか。 (例: ○○の講座で◇◇について学び、授業では△△の部分に取り入れた など)</p> <p>参加年: 2020・2021 年 / 研修会名: 第 4 回・第 5 回全国中等二外日本語教師研修会</p> <p>① 学生に今の日本を紹介し、アクセスさせ、体験させます。</p> <p>② 聞き取り 3 段階を運用します。</p> <p>③ 異文化理解の養成を重視します。</p> <p>④ 場面シラバス、機能シラバス、話題シラバスの教科書、教材を選びます。生教材を使用しま</p>				

※2 ページ以上になってもいいです、詳しく書いてください。ただし、項目は変更しないでください。

す。